

看護しずおか[🌿]

特集1

いい夫婦記念日特集 **がんばる看護職夫婦** P4・5

特集2

社会問題解決に向けて3職能で協働する P6・7

先人に聞く 看護の道しるべ

認知症予防に捧げる(第2回) P3

助産学科が新設されました!! P8

令和元年度

VOL.4



富士山本宮浅間大社における
奉祝天皇陛下御即位提灯行列

会員数 21,548名 (令和元年 11月1日 現在)

●保健師…519名 ●看護師…19,459名
●助産師…813名 ●准看護師…757名



公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会

検索

<http://www.shizuoka-na.jp>

[静岡県看護協会]
お気軽にご利用下さい。



令和元年度 第3回定時理事会報告

■ 開催日時 令和元年10月24日(木)

■ 会 場 静岡県看護協会 第1会議室

出席理事:16名、欠席理事:6名 定款38条に基づき、定足数12名を満たしていることを確認
出席監事:3名、欠席監事:0名

1.協議事項(すべての事項について承認される)

(1)令和元年度中間事業報告

- ・会務庶務報告
- ・教育研修部報告
- ・事業部報告
- ・ナースセンター報告

(2)令和元年度中間会計報告

(3)公益社団法人静岡県看護協会規程の改正(案)

- ・旅費規程の一部改正(案)
- ・給与規程の一部改正(案)

2.報告事項

(1)代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告

(2)関係機関、関係団体の役員、委員の就任について

(3)令和2年度「看護の日・週間」企画実行委員会委員について

(4)会員入会の申請状況について

(5)公益社団法人静岡県看護協会要綱の制定

- ・自家用自動車の業務使用に関する取扱要綱の制定
- ・自家用自動車通勤取扱要綱の制定

お知らせ

11月1日(金)

AEDを静岡県看護協会エントランスの正面右、時計の下に設置いたしました。

当日は看護協会事務職員を対象に心臓マッサージとAEDの使い方について講習会を行いました。



令和元年 秋の叙勲受章おめでとうございます

瑞宝双光章

元中東遠総合医療センター
副院長兼看護部長

青木 春美氏



第2回

先人に聞く 看護の道しるべ 認知症予防に捧げる

今回は、喜寿を過ぎても「スリーA 予防デイサービス 折り梅」の所長を務める傍ら、認知症予防の講演会に全国を飛び回るバイタリティーあふれる増田末知子さんにお話を伺いました。

(インタビュー 平成31年1月22日)

増田 末知子さん



念願叶って精神科に

どうしても行きたかったのが精神科。静岡県立掛川東高等学校の衛生看護科長から、県立養心荘（現こころの医療センター）に異動した。養心荘の建物は古かったが、環境がよく、大変勉強になった。開放病棟、閉鎖病棟、外来と12年間の間にすべてを経験させて貰った。中でも、外来を担当したことがいろいろな知識を得ることに繋がった。医師ともよく話し合いをした。また、患者を保護してきた警察官とも情報交換をした。そのことで意識が病院から外に向くようになった。

海外研修に参加

昭和57年当時は海外旅行も行ったことがなかった。静岡県には職員のための海外研修制度があった。それは①予算を100万円使える②一人で行く③3つの国またはアメリカなら3つの州まわること等の条件があった。苦手だった英語を特訓し、その甲斐あって試験に合格した。事前研修もあり、研修先への依頼文の書き方や渡航手続きなど必要なことはすべて教えて貰った。

研修先は自分で選び、アメリカ合衆国の3つの州を1ヶ月掛けてまわった。精神科に行ったつもりが老人の施設に行ってしまった。食券を渡すところに間違えて入ってしまい、ライフル銃をつきつけられた。気を取り直して、老人の問題はどうなっているのか、聞いた。その時「アメリカはすすんでいるなあ」と思った。

土日の休みには「赤毛のアン」の舞台となったカナダのプリンスエドワード島まで旅行した。今でも100万円は大金だが、当時の100万円は大変な金額だった。

海外研修が終わった後、もっと勉強したくなった。今度は有給をまとめて取り、自費でニューヨーク大学やサンシティに行き、老人のことについて主体的に研修した。老人の問題はいずれ日本でも問題になると思った。



がんばる看護職夫婦

11月22日は、いい夫婦の日です。今回は、夫婦で看護職として働く4人の方に、勤務体制や家族構成、ふたりで働き続けられる理由(家事分担や勤務調整など)について執筆してもらいました。



静岡県立静岡がんセンター
高橋 侑士・真斗香

勤務体制 2交替

家族構成 私、妻の2人

私と妻は同じ病院の集中治療室で働く先輩・後輩という形で知り合いました。妻の入職当初は同じ勤務帯でもあまり話すことがありませんでしたが、仕事の悩みや相談を受けたことをきっかけに交際が始まり、交際2年目に結婚しました。

お互いに2交替勤務なので、二人揃って休みになることは少ないです。だからこそ、二人の休みが合ったときは一緒に外出して夫婦の時間を大切にしています。

同じ仕事なおかつ同じ部署で働いているからこそ、お互いの苦勞を理解し尊重し合い、家事はどちらが何をすると決めるのではなく、勤務や時間に余裕がある方が行うようにしていることが夫婦で看護師を続けられる要因の1つだと思います。また、自分たちだけでなく、上司や仲間たちの理解や協力もあり、仕事と家庭の両立ができていると思います。

今年から妻が消化器内科病棟へ異動となり、これまでと違った悩みや苦勞が出てくるとは思いますが、今までと同様にお互いを支え合いながら楽しく過ごしていきたいと思っています。



有隣厚生会 富士病院・富士小山病院
赤平 法三・奈美

勤務体制 私:2交替、妻:日勤

家族構成 私、妻、長男(10歳)、長女(8歳)、次男(5歳)、柴犬の5人+1匹

私は、循環器内科・心臓血管外科を中心とした急性期病棟で、妻は系列病院の外来で勤務しています。結婚して10年になる私たちが夫婦で働き続けられる理由は、お互いを思いやり協力し合っているからです。

そして「感謝の気持ちを言葉で伝える」ということを心掛けて、当たり前の事かもしれませんが、忘れがちになりやすい事を大切にしています。出勤前でも時間が許す限りできることを手伝い、休日は子供たちと沢山遊ぶようにしています。また、夫婦で看護師であることの利点は交代で長期研修に参加したり、お互い刺激し合って現状に満足せず、よりよい看護を目指し日々自己研鑽に励めることです。

今、我が家が夢中になっていることは野球です。私が野球をしている姿を見て長男が少年野球を始め、次男もそれに触発され練習を始めました。週末は息子の野球応援に出掛け、忙しい毎日を送っていますが、家族みんなで楽しんでいます。

これからも子供の成長を楽しみ、見守りながら、また看護師としてさらに成長できるように夫婦で頑張っていきたいです。



静岡県立総合病院
鹿野 聖也・絵理子

勤務体制 私:2交替(消化器外科)

妻:育児短時間(外来)

家族構成 私、妻、長男(2歳)の3人

私達は2歳の息子と夫婦(2月に2人目出産予定)の3人で暮らしています。子供が生まれてからの職場復帰は、仕事と家事を上手く両立するのがなかなか出来ませんでした。また初めての子育てにも奮闘しな

がらだったので、お互いの気持ちの余裕もなく些細なことで喧嘩したこともたくさんありました。しかし、お互いの仕事の大変さや仕事内容が理解できる分、お互いを尊重、共感し、休みの日などを利用して家事分担することで徐々に私達のペースで仕事と家事を両立することが出来てきました。

私達夫婦の中で子供の存在がやはり大きく、忙しく余裕のない日々でも成長し色々なことが出来るようになる息子を見ていると、私達も頑張ろうと思える原動力になります。また職場の理解、協力があつて育児しながらの仕事が成り立っていると思います。夫婦として、親として、看護職者として感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていこうと思います。



聖隷浜松病院
佐藤 慎也・万理

勤務体制 私:日勤(夜勤月2回程度)

妻:ワークシェア(夜勤3回/月)

家族構成 私、妻、長女(5歳)の3人

私は外科と内科の混合病棟で勤務しています。妻は小児科病棟でワークシェアを利用し、月3回の夜勤を行いながら勤務しています。私自身が2016年より役職に就いたことで、現場スタッフの時とは違う働き方となり、はじめは昼間主体の勤務に戸惑いましたが、現在は役職としての働き方を活かし夫婦共に働き続けられています。夫婦で協力し仕事ができている秘訣としては、私の勤務が日勤主体であることで、夜勤も行う妻との勤務日程が調整しやすいことと、土日・祝日は基本的に休みとなるため家族の時間が持ちやすいことです。娘も「休日は家族の時間」という意識になり楽しみに週末を迎えています。そして、家族にとっても休日を充実させることで、私達夫婦の仕事の活力につながっていると感じています。家事については、娘が生まれる前から二人で分担してきました。食事は妻が私は洗濯、掃除を担当しています。最近はその間に娘も協力して食事や洗濯の手伝いをしてくれます。役職としての働き方と家庭の両立を通して、ワークライフバランスの大切さを日々実感しています。家族や職場の支援に感謝しながらこれからも頑張っていきたいと思っています。

看護協会のホームページが見やすくなりました!

今回のハラスメント対応については、クリニック内でも多職種のメンバー勤務なのでとても参考になりました。早速研修会に提案しました。日々感じることをスタッフ全員で共有し、かぜとおしのよい、互いに思いやりのもてる職場環境にしたいです。

看護しすおかの中で、シリーズ人の一生を支える看護職のコラム欄が好きで読ませていただいています。病院だけでなく色々な場所で働いていらっしゃる現役の看護師の方々の意見や感想を読むのは貴重と感じています。

大学の同級生のコメントが載っており、それぞれの場所で頑張っていることを知れてよかった。

読者の
の広場

~Vol.3の感想・意見~

令和元年9月21日(土) 3職能交流会

社会問題解決に向けて3職能で協働する

初めての3職能交流集会は、子どもの虐待予防をテーマに武蔵野大学 中板育美先生から、講演を受け、虐待の実態を事例を通して学びました。また、児童相談所や地域包括支援センター、病院、女性相談センターに勤務する看護職から、子どもの虐待やDVに関わる取り組みが報告され、その後のグループワークでは120人の参加者が熱心に情報を交換し、虐待の予防に向けての意見を述べ合いました。

基調講演

「なぜ、起こるのか虐待 ～虐待の実態を知ろう～」



講師：武蔵野大学
看護学部教授
中板 育美 氏

◆子ども虐待の定義と子どもへの影響

子ども虐待は身体虐待、心理的虐待、ネグレクト、性的虐待の4区分で定義され、親または養育者、同胞など家族による理不尽な扱い、筋力・権力・経済的・心理的優位性等、圧倒的な力関係のもとに起こる。長期化、反復化しやすい。特に、子どもが暴力的環境にさらされると、子どもの心身の成長発達の阻害と共に、PTSD、認知の歪み、他者関係の障害・回避など長期的な心理的障害を引き起こす。

◆早期発見のために

出産病院で虐待のリスク発見のポイントは、

- ①初産時の母の年齢が10代
- ②貧困など児童福祉が関与
- ③児がspecial care baby unitに入院
- ④養育を懸念する看護記録が重要

子ども虐待には、世代間連鎖が考えられ、子どもへの非現実的な期待と知覚の歪みがある。そのような親は、自ら援助を求めない傾向にあり、委縮し防衛的になりやすい。そのため、専門職が「気になる

親」「気になる子ども」は、虐待リスクがあると考えられる。看護職は、そのようなエピソードを積み重ねることが重要である。

◆虐待防止のための施策

特定妊婦とは、医学的・心理的に支援が必要な妊婦であり、市区町村で実施されている要保護児童対策地域協議会にあげることが重要である。また、国は市区町村子ども家庭総合支援拠点をつくることを進めていて、現在ある子育て世代包括支援センターと合わせて活動していくことが望まれる。医



中板先生の講義

療機関での院内虐待対応チーム(CPT)で事例検討会が行われているところもあるが、病院内だけのメンバーで開催するのではなく、市町村の保健・福祉・教育等の関係者を行うことが効果的である。

◆虐待事例の援助の基本姿勢

- ①親・子どもを死なせないために危機判断をする
- ②虐待の発生・進行を防ぐために親を理解し支える
- ③程よい子育てで良しとする(完璧を期待しない)
- ④関わるスタッフ、関係者がさじを投げず、相互をサポートしあう関係を築く
- ⑤基本姿勢は、指導ではなく「親の相談者になること」

◆産後のメンタルヘルスと留意点

精神的な不調は、妊娠中や妊娠以前から始まっていることがある。産後1か月や新生児訪問で実施されるエジンバラ産後うつスクリーニング検査(EPSS)は、病院や地域で活用されている。しかし、元気なふりをしている可能性もあり限界があることに注意をする。暮らしぶりを観察し、事例との関わりの中で得られる情報を大切にすることや援助者は一人で抱え込まないことが重要である。

シンポジウム

シンポジウムでは、各機関で活動する看護職から、虐待予防や対応の実際を報告があり関係機関の情報共有の方法などについての意見交換や課題が出された。

(1)児童相談所の活動

静岡県中央児童相談所 藤田登志美 氏

(2)子ども病院での現状報告

県立こども病院地域医療連携室 高橋定子 氏

(3)女性相談センターにおける配偶者等からの暴力の被害者支援について

静岡県女性相談センター 中村康恵 氏

(4)妊娠期からの虐待予防

聖隷浜松病院 爪田久美子 氏

(5)地域包括支援センターでの実際

かなおか地域包括支援センター 正岡明美 氏

その後のグループワークでは、訪問看護の場では行政との連携が難しい事例があったことや、看護の場では患者一人一人にもう少し時間をとって、家族を含む観察をしていきたいなどの意見の他、組織として取り組む必要のある課題だと思う等の意見が出された。

3職能で虐待防止対応というテーマで情報交換し、児相や女性相談センター等普段聞けない内容となり、それぞれが実りの多い研修になった。



シンポジスト



三職能委員長

助産学科が新設されました!!

今年度、新たに助産学科がスタートしました。助産師としての仕事は、助産だけでなく、女性とその家族の一生を支援する役割が期待されています。新たな時代のニーズに対応するために新設された2校を紹介します。



対象者を主体とした切れ目ない助産が展開できる助産師の育成を目指して

静岡県立看護専門学校(旧静岡県立東部看護専門学校) 助産学科長 廣瀬 順

今年4月学校名を「静岡県立看護専門学校」と改め、県東部地域の出産・育児の支援の充実を図ることを目的に助産学科を開設し、新たなスタートを切りました。現在1回生10名が、講義・演習・実習と日々邁進しています。本校のカリキュラムには①助産診断力の強化②地域における切れ目ない支援③女性のライフサイクルを意識した助産師の活動④学生のレディネス差を整えるプログラム⑤危機管理対策と大きく5つの特徴があります。

特に、周産期の場において正常が逸脱する可能性を予測し、そのタイミングを見逃さない「診断力」の強化を目標

とし、シミュレーターを活用しながら、様々な場面を想定したトレーニングを繰り返して行っています。また、「切れ目ない支援」の実際を学ぶために、対象者の生活の場である地域を常に意識した実習を行っています。加えて、全ライフサイクルの対象者に対応できるよう、中年にむけた健康教育も実施しています。

現在、これまでの講義・演習を統合しながら、周産期実習で新しい命の誕生に向き合っています。静岡県看護協会会員の皆様の実習指導により、学生たちは自らの助産観を着実に育んでおりますので、引き続き温かな御指導をお願いいたします。



母子・家族の生涯を支え、災害時支援にも対応できる専門職を育成します

静岡市立清水看護専門学校 助産学科 教務長 高橋 多佳子

静岡県中部地区の助産師不足と、助産師にならなくても進学先が近隣に無いという看護学生や看護師のニーズに応えるため、静岡市立清水看護専門学校に1年課程、定員10名の助産学科を開設しました。

助産学科は、妊娠・分娩・出産のみならず、女性のライフサイクル各期で対象の願う生活の実現に向けて、継続的に支援できる幅広い知識とスキルを備えた助産師の育成を担います。また、様々な災害対策と助産師の役割を学び、災害母子支援で活躍できる人材の育成も目指しています。そのため助産学科では、助産師国家試験受験資格の取得に加え、受胎調節実地指導員の申請資格、

新生児蘇生法専門コース修了認定も取得することができます。

カリキュラムの運営にあたっては、専門性の高い医療職やその分野で研究活動がされている大学の先生方にご協力をいただき、1年間という期間で集中的に学べるように工夫しています。現在、1期生は、分娩介助実習の前半を終え、改めて命の誕生の瞬間を任される役割の大切さを実感しつつ、助産領域における自己の課題を明確にし、後半の実習に向かっています。

助産師に興味を持たれている方は、一度本校をお尋ねください。お待ちしております。



「最新の感染予防」

- ① 感染予防リンクナースの役割
- ② 高齢者施設・在宅における感染予防対策の実践

教育委員会
鈴木 富士子

今年度の感染予防研修は2本立て企画としました。感染予防リンクナースと施設・在宅看護職員が合同で矢野講師の「CDCガイドラインに基づく医療関連感染対策の重要ポイント」を最新情報と共に楽しく学びました。その後、2研修に分かれ感染予防リンクナース研修では、リンクナースとしての役割遂行の知識や具体策

について葛原講師による丁寧な講義と昨年度受講者3名の実践報告で、今後の活動につながる充実した内容でした。高齢者施設・在宅看護職員の研修では、松井講師・佐藤講師による効果的に配分された講義と演習で、生活の場における感染予防対策について日常業務につながる実践を学ぶことができました。



矢野 邦夫氏



葛原 健太氏



松井 順子氏



佐藤 美由紀氏

看護研究にトライ!

学術研究推進委員 清 好志恵

「看護研究の基礎～研究計画書にトライ～」の研修は「看護研究の第一歩」の続編として位置づけました。これから研究をしたい、でもやり方が分からない、もっときちんと基礎から詳しく学びたいという方を対象に、看護実践の中の疑問や新たな発見を研究にするために必

要な基本的な研究知識・技術を学ぶ研修です。研修は、講義、グループワークと個人ワークをしながら研究計画書を作成し、発表までを3日間で行います。定員が25人で講師から個々に研究計画書へ指導を受けることもできます。来年も看護研究へ是非ご参加ください。

教育研修部職員紹介



松井 泰子

担当は認定看護管理者教育です。
医療制度は目まぐるしく変化し組織も急激に変わっていますが、看護は色々な可能性を持っています。このような未知の時代を切り開いていく価値ある一歩を、皆さんと一緒に踏み出せたらと思っています。
最近友人に誘われて、プリザーブドフラワーアレンジメントの教室に通いはじめました。無理のない時間と回数で、楽しいです。加えて、友人達とのランチも良い気分転換になっています。



県下に広がる「看看連携の輪」

看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業

令和元年度は7地区に助成金を交付し、地域の看看連携を支援しています。VOL3に引き続き、3力所の活動をご紹介します

ナースまるネット おまえざき

御前崎市



たくさん出来た仲間たちと、御前崎市内の在宅療養支援強化と看護職連携に向けて力を合わせます

みくりやの 未来へつなぐ地域の輪

御殿場市
裾野市
小山町



みくりや地域(御殿場市・裾野市・小山町)の看護職の顔の見える関係作り。地域住民の生活習慣病の予防と進行防止に貢献します

宮de看看ネット やってマス

富士宮市



市内で働く看護職が、顔の見える関係作り。市民の望む「看取り」を医師会と共に考えます

令和元年度 静岡県看護職員認知症対応力 向上研修 — 認知症ケア体制構築推進者研修 —

認知症に対応するケア体制づくりをめざして！

静岡県からの委託を受け「認知症施策推進大綱」に基づき、指導的役割の職員を対象とし、医療機関等での認知症ケアの適切な実践とマネジメント体制の構築を目的とした研修を行いました。

認知症の当事者の方からの日常生活の様子を聞き、認知症の方への実践的な対応力を習得しました。

演習では自施設での研修計画の立案などについて検討しました。



当事者として語る

訪問看護出向研修支援事業が スタートしました！

今回紹介するのは、出向者の森下久実さんの声です。
(中東遠総合医療センター → トータルケアひかり)
「訪問看護を体験する中で、利用者さんやご家族の生活や思いを知ることができました。また訪問看護の視点を持たせた事で、急性期病院での必要な介入や利用者さんにとっての外来受診の重要性を感じることができ、在宅でよりその人らしく過すために必要な多職種での連携がみえてきたところです。在宅療養を地域で支えられるよう課題を明確にしたいと思っています。」



先輩看護師に同行して利用者さんのご自宅へ

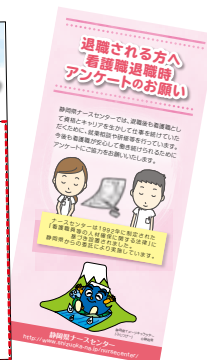
新人看護職員研修「Cheer up-元気を出していこう!」を実施しました。

10月23日(水)清水ナショナルトレーニングセンターで県内21施設から令和初の新人看護職員42名が集まりました。教職を定年後に看護職となったナースマンからの応援スピーチで元気と勇気をもらい、ヨガ体験でリラックス、グループワークで「今の思い」を語り合い、「感謝と笑顔」の大切さに改めて気づいた1日となりました。



退職される方へアンケートのお願い

ナースセンターは看護職員確保対策事業を推進し、その一環として個人の方を対象に施設を退職される際に、退職者調査をお願いしています。退職される方の傾向を集約、働き続けるための工夫や県内の状況について分析します。届出制度は努力義務ですが、皆様のご協力により順調に増えています。今後もよろしくお願いします。



お知らせ

※相談・研修は看護職であればどなたでも受けられます。

パンフレットの一部分がはぎになっています。切り取って投函してください。

(1) 移動相談

県下14のハローワークにナースセンターの就業相談員が出向いて、就業について相談・支援をしています。

※予約:不要 時間:9:30~12:00 ★浜北以外で就職相談会を同時開催中 詳細はホームページで☑

	下田	御殿場	富士	沼津	三島	清水	静岡	焼津	島田	掛川	磐田	浜松	浜北	細江
12月	—	—	11日	17日	24日	17日	11日	24日	—	2日	—	11日	20日	—
1月	28日	28日	8日	21日	—	—	8日	—	28日	—	21日	8日	—	21日

(2) 研修会

名 称	会 場	実施日
セカンドキャリアセミナー	アクトシティ浜松	12月12日(木)
第2回 再就業者フォローアップ研修	静岡県看護協会	令和2年1月30日(木)
介護施設等再就業研修	プラサヴェルデ	令和2年2月 5日(水)・ 6日(木)・ 7日(金)
再就業準備講習会	静岡県看護協会	令和2年2月19日(水)・20日(木)・21日(金)

(3) 地域での就職相談会を計画中です。ナースセンターだよりプラスをご覧ください。

*** 悩みは誰かに話しましょう ***

悩みを抱えていませんか?悩みは一人で抱え込まずに、誰かに話しましょう。ナースセンターには相談窓口があります。話した内容が他の人や職場に伝わることはありません。お気軽にご利用ください。

悩み専用ダイヤル

054-202-1780 月～金曜日 9:00～16:00

新人専用ダイヤル

090-2183-8734 はなしてみよう 月～金曜日 9:00～16:00

(公社) 静岡県看護協会 静岡県ナースセンター

(相談時間 9:00～16:00 本所のみ火～木は18:00まで)

本 所: TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762

東部支所: TEL/FAX 055-920-2088

西部支所: TEL 053-454-4335 FAX 053-401-3510

下田相談所(毎週木曜日): TEL 080-2650-0327

天竜相談所(毎週火曜日): TEL 080-2650-0237

看護協会
総務部

2020年度看護協会会員継続手続きについて

11月第2週目から、翌年度の継続手続きに関するお知らせをお送りいたします。同封されている会員情報変更届に印字している内容は、9月18日時点のデータとなります。登録内容のご確認をいただき、変更がない場合は、提出は不要(自動継続)、年会費を納めていただき手続き完了です。(9月18日以降の入会の方は、12月以降に順次お送りいたします)

- 変更がある場合は、変更届を提出いただくかキャリアナースより変更してください。
- 継続手続きをすることについて、「未定」の場合は、年会費納入を保留にすることも可能。12月末までに、会員管理担当へお電話にてご相談ください。
- 退会される方は「退会届」の提出が必要となります。特に「口座振替」指定されている場合は、静岡県看護協会へ「退会届」12月末必着で提出をお願いいたします。

「退会届」は、静岡県看護協会ホームページよりダウンロードできます。

問合せ先 総務部 TEL:054-202-1750

静岡県
看護協会

第8回 静岡県看護学会

看護の未来を創造しよう!
～私の経験を意味づける～

開催日 令和2年 1月18日(土)10:00～
開催場所 静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ(10階)(静岡市駿河区東静岡2-3-1)東静岡駅(南口)から徒歩約3分
基調講演 「看護の未来を創造しよう! ～私の経験を意味づける～」
秋山智弥氏(日本看護協会副会長 岩手医科大学特任教授)

参加費

区分	事前申込	当日申込
会員	2,500円	3,500円(会員証の提示が必要)
非会員	3,500円	4,000円
看護学生(看護師免許未取得)	500円	500円

参加申込 静岡県看護協会ホームページから申し込みください。
(当日参加は、抄録集がない場合がありますので、なるべく事前に申し込みください)

申込期間 令和元年11月1日(金)～12月23日(月)

問い合わせ 教育研修部 TEL054-202-1760

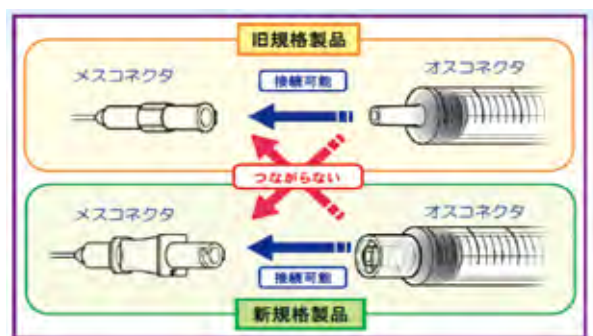
医療安全情報
2019年度 第4弾

医療安全推進のための取り組み

働き続けられる職場づくり推進委員会

誤接続防止コネクタの導入について(神経麻酔分野)

新規格製品と旧規格製品のコネクタは太さや形状が異なるため、相互に接続することができません。新規格製品と旧規格製品の判別が難しい場合もあるため、包装に記載されている表示とあわせて確認してください。(旧規格製品の出荷は2020年2月末に終了します。)



参考 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 PMDA医療安全情報No.55

クイズに答えると、抽選で7名様にクオカードが当たる!



問題 院内虐待対応チームの略はなんでしょう?

答え ○○○○



応募方法

葉書又はメールに答えをお書きのうえ、下記にお送り下さい。正解者の中から、抽選で7名の方にクオカード(1,000円分)を差し上げます。当選者は「Vol.4」に掲載させていただきます。(ペンネーム可)

右記内容をご記入のうえ、応募してください。

●答え ●氏名 ●所属 ●電話番号 ●〒 ●住所 ●看護しずおか感想 ●看護協会へのご意見

お寄せいただいたご意見・ご感想は、看護しずおかに掲載させていただく場合があります。

締め切り

12月20日(金)消印有効

葉書の場合の宛先

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 静岡県看護協会 総務部 看護しずおかクイズ係
※はがき63円に値上がりしましたので応募の際はご注意ください。

メールの場合の宛先

メールアドレス
kango@shizuoka-na.jp

当選者

「Vol.3」のクイズの答え：福祉

ペンネームひなたん様・ペンネームペン子様・ペンネームまいちゃん様
尾藤光代様・山口暢子様・高野真利江様・ペンネームよつちゃん様



公益社団法人 静岡県看護協会

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階
TEL.054-202-1750 / FAX.054-202-1751 編集責任者:渡邊昌子

令和元年11月25日発行